

2026 ミナモオープンマスターズ水泳競技大会参加の注意

<競技方法>

- 1) 競技は、2026年（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則に則り実施します。
- 2) 競技は、5レーン使用で行い、全てタイムレース決勝で行います。
- 3) 男女別、年齢区分別の組み分けに従い高年齢から低年齢へタイムの遅い組から速い組への順に進めます。
また競技運営上、同一種目に限り2区分以上同時に競技を行う場合があります。
- 4) 組み分けされている種目で棄権者が多数出た場合、次の組と合同で競技を行う場合があります。
- 5) エントリータイムと競技結果の差が遅い速いに関わらず、200m種目2分00秒以上、400m種目4分00秒以上の差がある場合は、インターフェア行為で失格となります。
- 6) 招集は、レース20分前より行います。（競技進行は、オンタイムで行います。）
- 7) 招集受付を済ませないといかなる理由であれ棄権となり、出場ができません。

<スタート>

- 1) 種目、組、レーンをプログラムで確認し、スタートする場所の間違いないようにしてください。
前の組のスタート後、スタート台の後ろに立ち自分のレーンを確認してください。
- 2) 水浴びは、1レーンのウォーミングアップレーンをご利用ください。（水浴び用バケツはありません）
- 3) 公式スタート練習は、9時10分から9時30分（5・6・7レーン）で行います。
指定レーン変更の場合は当日通告より発表します。
公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。
- 4) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②スタート台横、③水中からのスタートが許されています。
初めて競技に出場される選手や飛び込みの練習をされていない選手は、安全面からスタート台横や水中からのスタートをお勧めします。その場合、近くにいる競技役員にお知らせください。

<競技後の動き方>

- 1) 同じ組の最終泳者がゴールタッチするまでその場を離れないでください。その後は、競技役員の指示に従い1レーン側、7レーン側に移動してください。移動後、次の組がスタートするまで水中で待機してください。次の組のスタート後、脈拍が平常脈に下がってからプールサイドに上がってください。移動の際には、タッチ板に触れないようお願いいたします。

<ウォーミングアップ>

- 1) 競技開始前のウォーミングアップは、8:45～9:45です。女性専用レーンを1・2・3レーンとします。
- 2) 公式スタート練習は、9:10～9:30（5・6・7レーン）です。
- 3) 競技中のアップ・ダウン用に、1レーンを常時解放しますので、競技の妨げにならないようにご利用ください。
- 4) 競技中のスタート練習は禁止です。
- 5) 競技開始後は、2レーンの使用は禁止です。
- 6) 各自レース前のウォーミングアップを必ず行ってください。

<競技進行>

- 1) 開・閉会式は行いません。
- 2) 競技開始は、10時00分です。
- 3) 控え場所について
チームの場所は基本的に指定していません。プールサイド・1Fロビー・2F観覧席をご利用下さい。
（1階ロビーは75歳以上の選手や出場に介助を必要とする選手がいるチームを優先でお願いします。）
- 4) 競技結果は、更衣室前の壁面に掲示しますのでご覧ください。

<チーム受付について>

- 1) チーム責任者は**リゾリレーションデスク**（1階室内ロビー）で午前7時50分からチーム受付をしてください。その際、プログラム・参加賞を受け取り、確認をしてください。
- 2) 棄権届・リレーオーダー変更届が必要なチームは当日お渡しできます。

<健康管理について>

- 1) 大会中の健康管理は本人の責任とし、ご自身の体調には十分留意してください。
- 2) 会場内で、ケガや体調が悪くなった場合は、大会本部室にて応急処置の範囲で対応します。
処置において、出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。
大会本部室には看護師が常駐しておりますので、気軽にお声がけください。
- 3) 当日ご自身の体調に不安を感じたら棄権してください。また、仲間の方も棄権を勧めてください。
特にリレー種目では1人の選手が体調不良の場合、仲間が棄権を勧めることが大切です。

<その他>

- 1) 室内プールサイドでの食事は禁止です。
- 2) 長良川スイミングプラザでは、チューインガムの持込みを禁止しています。
- 3) 当日出たゴミは、必ず各自でお持ち帰りください。
- 4) 貴重品の保管は、各自でお願いします。紛失されても責任を負いかねます。
- 5) **忘れ物は、1週間**（一社）岐阜県水泳連盟事務所で保管しますが、**その後処分**します。
責任者の方が（一社）岐阜県水泳連盟事務所に問い合わせてください。

<変更・申告>

- 1) リレーオーダーを変更する場合（締切時刻までに1回のみ）は、リゾデューションデスクに提出してください。
- 2) 締切時刻はレース開始1時間前とします。
- 3) 種目、年齢区分の変更はできません。
- 4) 同一リレー種目には、年齢区分にかかわらず1人1回しか出場できません。
- 5) オーダー締切後の泳者及び泳者順序の変更は認めません。

以下の項目に該当する方は出場種目開始予定時間1時間前までにリゾデューションデスクで申告を行ってください。

『出場申告用紙』が必要な申告

- 1) テープ等をされる方
※怪我によって必要な場合、審判長の許可があれば1本または2本の手の指、足の指へのテープが認められます。
※競技規則上、その他のテープ等は認められません。やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください（指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するテープ等は基本的に許可できません）。
- 2) 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方
申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。
- 3) 出場に介助が必要な方
事前申告をしたうえで、チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付き添うことはできますが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ることは不可）。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。
- 4) リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム
申告がなく水中からスタートした場合は失格となります。また、世界記録に挑戦するチームの第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を突破しても世界記録の公認はされません。
- 5) 日本記録・世界記録の公認には、世界水泳連盟（WORLD AQUATICS）が公認した水着の着用が必須です。世界記録・日本記録を突破された場合、泳者の生年月日を証明する下記いずれかのコピーが必要になりますので準備してください。

世界記録：「パスポート」「住民票（3ヶ月以内のもの）」

日本記録：「パスポート」「住民票（3ヶ月以内のもの）」「運転免許証」「マイナンバーカード」

<異議申し立て>

- 1) 異議申し立て（抗議書の提出）は、チームの責任者がリゾリューションデスクで行ってください。

競技開始前にわかった事柄についてはその競技の出発合図の前までに、競技の失格内容や状況等に異議のある時はそのランキング発表後 30 分以内に抗議書に内容を記入し、**抗議料 50,000 円**を添えて提出してください。

抗議書の内容を審判長ならびに大会総務で裁定します。また、**抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合は抗議料を返金しません。**

- 2) 違反内容の問合せは選手本人からでも可能です。リゾリューションデスクにて指定用紙に記入のうえ、お申し出ください。

<表彰>

- 1) 出場選手全員に**参加賞（チーム受付時）と記録証**を授与します。
2) マスターズ日本記録を突破した選手およびチームには、日本新記録樹立証・記念バッジを授与します。
3) WORLD AQUATICS認定のマスターズ世界記録を突破した選手およびチームには、世界新記録樹立証・記念バッジを授与します。

<個人情報ならびに肖像の取り扱い>

（一社）岐阜県水泳連盟が、競技中に大会風景として写真を撮影し、公式ホームページや大会案内チラシ等に掲載する場合がございます。予めご了承ください。

本大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては以下のとおりです。

- 1) 個人情報
- ・プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
 - ・競技結果としてホームページ、ニュース等の媒体に掲載します。
- 2) 肖像
- ・大会報告としてホームページ、ニュース等の媒体に使用します。
 - ・マスターズ水泳の普及活動のために各種媒体に使用します。
 - ・本連盟が定めた撮影者によって撮影された全ての映像は本連盟に帰属します。

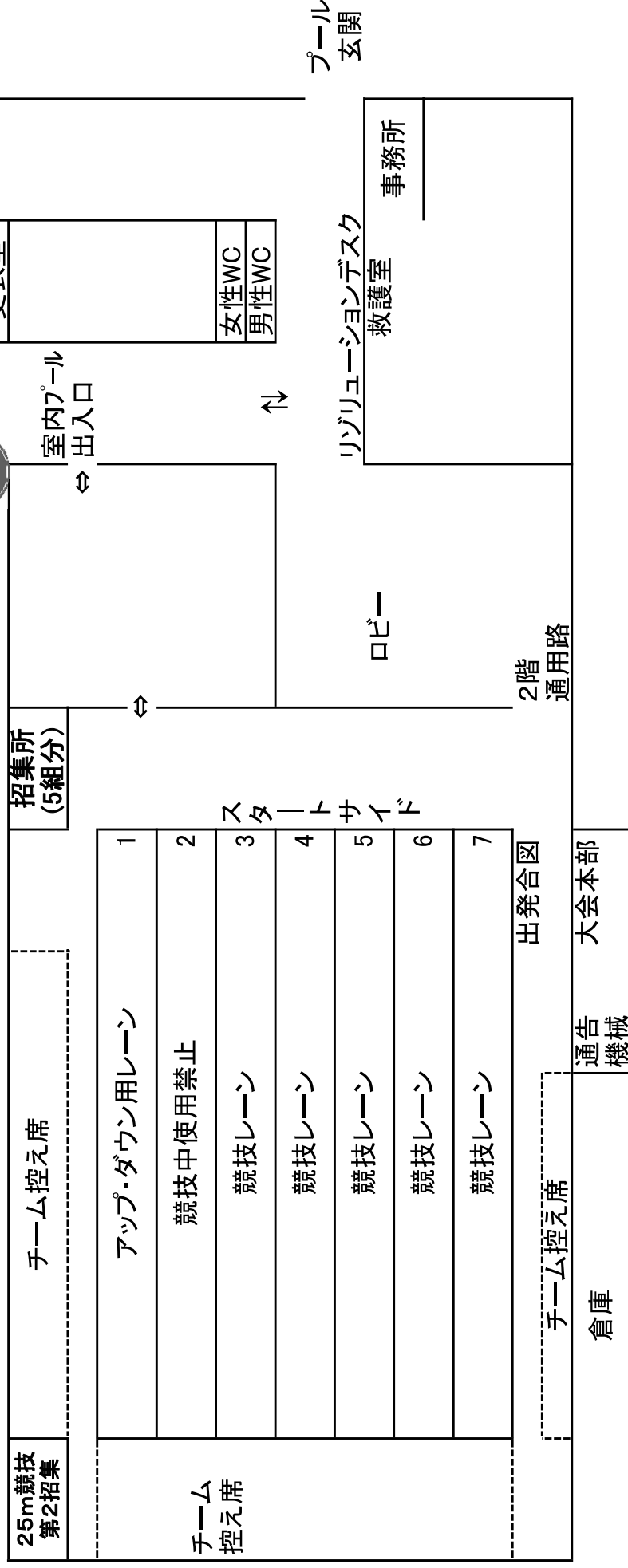
■ 一般社団法人日本マスターズ水泳協会競泳競技規則 抜粋（カッコ内：競技規則条項）

- (1) 出発について
 - a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台・プールデッキおよび水中のいずれからでも行える。（第4条1項）
 - b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛ける。（第4条1項）
 - c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、少なくとも一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁に付ける。（第4条1項）
 - d. 出発合図の前にスタートの動作を開始した競技者は失格となる。（第4条3項）
- (2) 自由形について
競技中は泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折り返しの間、スタート後・折り返し後の壁から15m以内の距離では体は完全に水没しても良いが、壁から15m地点までに、頭は完全に水面上に出ていなければならない。（第5条3項）
- (3) 背泳ぎについて
バックストロークレッズを使用する場合は、両足共、少なくとも一本の指はタッチ板に接していなければならない。（第6条1項）
- (4) 平泳ぎについて
 - a. 両腕の動作は、同時に行われなければならない、交互に動かしてはならない。（第7条2項）
 - b. 両脚の動作は、同時でなければならない、交互に動かしてはならない。（第7条4項）
- (5) バタフライについて
 - a. 全ての足の上下動作は同時に行われなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の足の蹴りが許される。（第8条3項）
 - b. 泳者はスタート後、折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回の蹴りと後方への一かきが許される。スタート後、折り返し後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15m地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。また、次の折り返し・ゴールまで、体は水面上に出ていなければならない。（第8条5項）
- (6) メドレー競技について
個人メドレーでは、自由形の際に壁から足が離れたときにはあおむけの姿勢であっても良いが、うつ伏せの状態になるまでは、バタフライの蹴りも含めていかなる足の蹴りも行ってはならない。（第9条1項）
- (7) 競技終了後の退水について
泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合は、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は、失格となる。また、その他の妨害行為をした場合も失格となる。（第10条9項）
- (8) リレー競技の第1泳者の記録について
4×25mのリレー競技を除き、リレー競技の第1泳者の記録は新記録に申請することができる。第1泳者が違反なく泳ぎ終われば、続く泳者に失格があっても、第1泳者の記録は無効にならない。（第13条5項）
- (9) 水着の規定について
競技会で着用できる水着等は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に則る。（第15条1項）
 - ※ マスターズ水泳では、ウェアや水着への商業ロゴマーク等の規定はありません。
 - ※ 日本新記録・世界新記録の公認には、WORLD AQUATICS 承認水着の着用が必要です。
 - ※ ネックレス、ブレスレットおよび鼻栓は使用・着用できますが、パワーバンドと判断されるもの（ファイテンやパワーバランス）は使用・着用できません。また、デザイン等で危険が想定される装飾品（石が付いているものなど）については安全上の理由で使用を控えてください。

2026 ミナモトオープンマスターズ水泳競技大会 会場図

- * 2階観覧席もチーム控え席とします。(土足厳禁)
- * プールサイド(土足厳禁)は、食事禁止です。
- * 必ず、チーム受付(7:50～)をしてください。
- * 選手入場 7:50、ウォームアップ 8:45～9:45
- * 公式スタート 9:10～9:30 5・6・7レーン
- * 競技開始 10:00、終了予定 16:22

屋外プール プールサイド使用禁止



- * 駐車場を利用される方は別紙「駐車場案内」をご覧ください。

駐車場案内

- ・ 周辺及び駐車場出入り口付近、バス停前の駐停車は大変危険ですので、おやめください。
- ・ 満車の場合は駐車場に入ることができません。
- ・ 駐車場の収容台数が十分にございませので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
- ・ サンサンデッキ下駐車場が混雑時（残り台数30台以下の場合）においては、西・北両側ゲートからの同時進入を避けるため、西ゲートからの進入はお断りし、北ゲートへ回るようにお願いする場合があります。
- ・ 各駐車場の混雑時・満車時には、付近道路の交通渋滞による混乱を避けるため、警備員により他の駐車場へ駐車していただくよう誘導する場合があります。

岐阜メモリアルセンター駐車場案内図

